

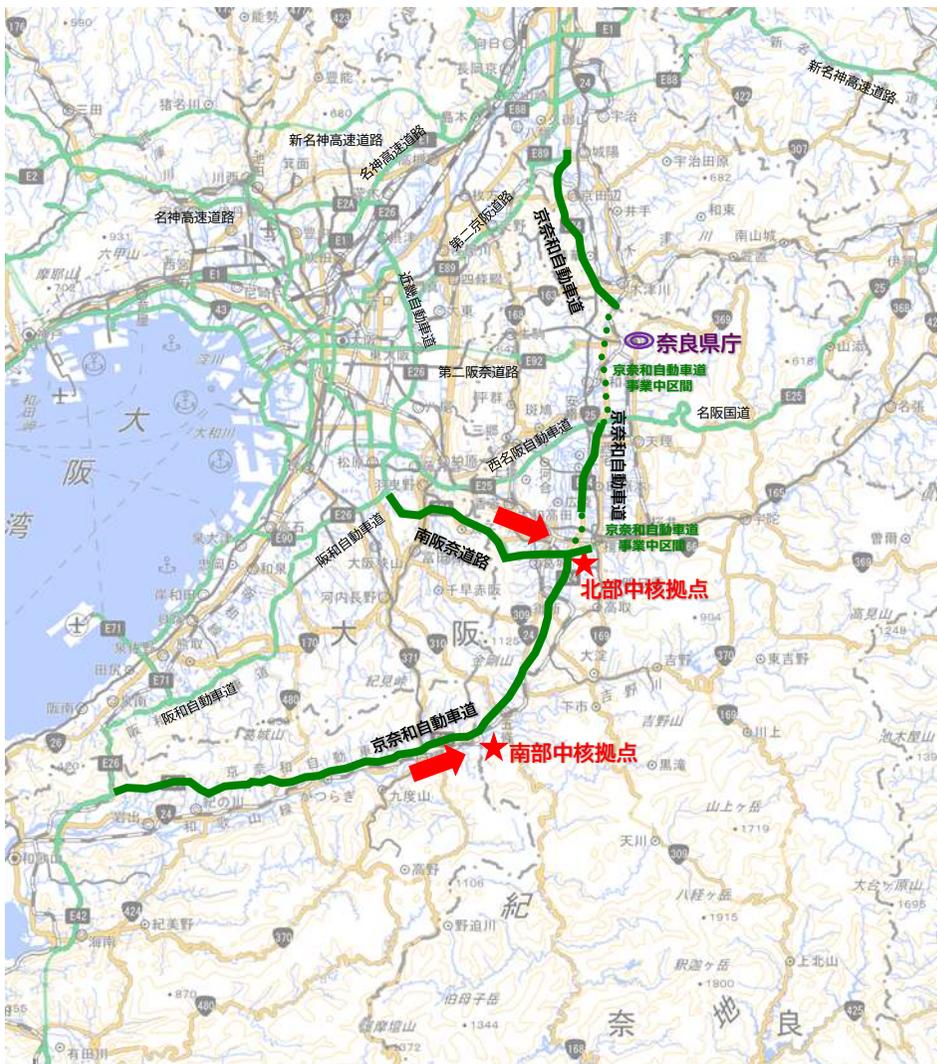
北部中核拠点、南部中核拠点 へのアクセス整理

令和6年11月12日
奈良県防災統括室

1. 北部中核拠点、南部中核拠点への広域的なアクセス

○ 北部中核拠点は南阪奈道路(大和高田BP)、南部中核拠点は京奈和自動車道などにより、県外からの広域的なアクセス性が良好。また、両拠点とも県内の南北軸となる京奈和自動車道に程近いため、県庁へのアクセスも良好で、周辺に複数の緊急輸送道路が近接している。

■ 広域図



地理院地図を加工して作成

■ 奈良県緊急輸送道路ネットワーク図(令和6年3月)

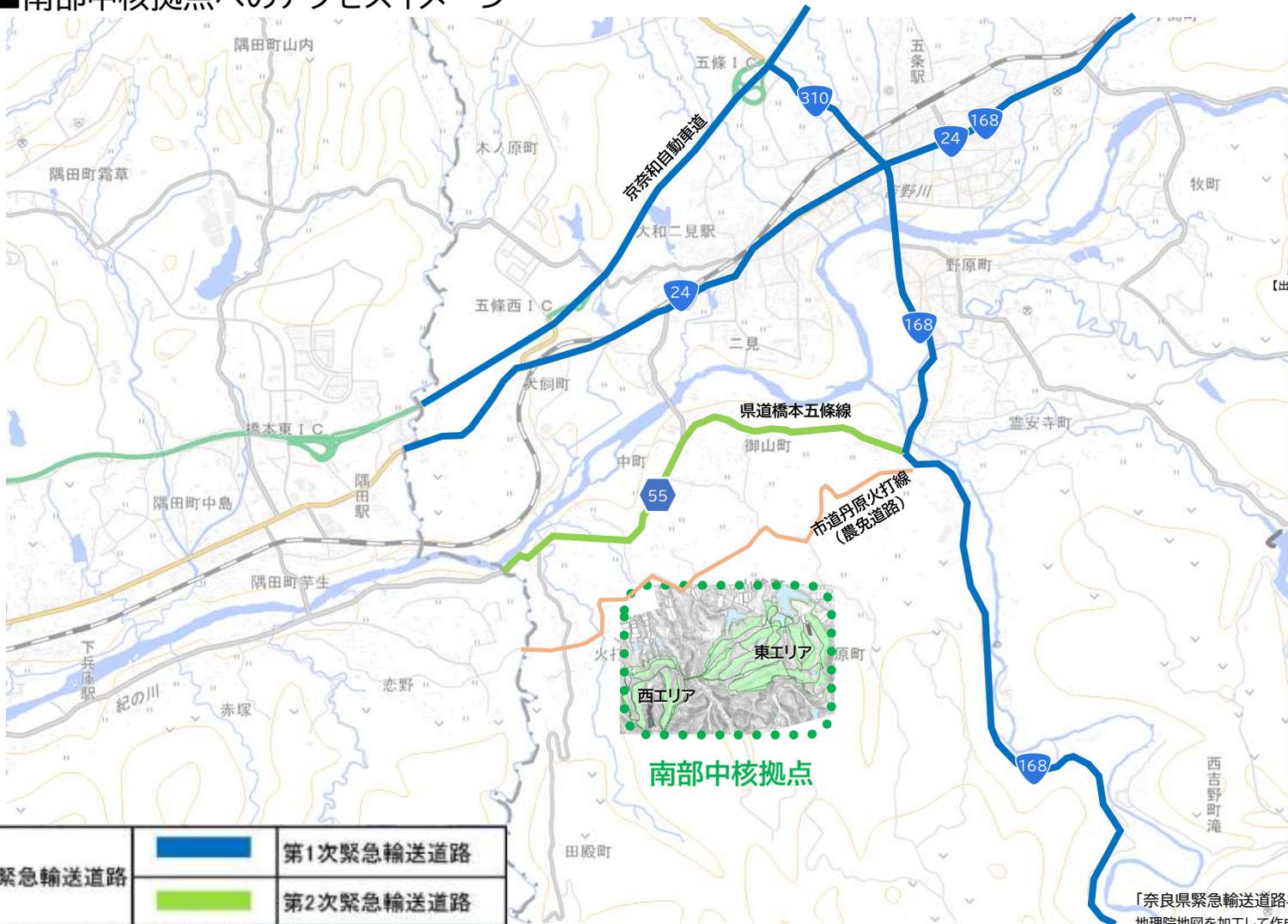


地理院地図を加工して作成

3. 南部中核拠点へのアクセス

- 南部中核拠点は、今後、防災拠点として段階的な整備や、南部中核拠点へのアクセスを改善することにより、防災機能を向上させ、各段階で北部中核拠点との連携・補完を図りながら、大規模災害に対応していく。
- 京奈和自動車道、国道24号や国道168号等に近接していることから、まずは、周辺の道路整備の状況や課題等の検証・整理が必要。

■南部中核拠点へのアクセスイメージ



緊急消防援助隊の集結・宿営(宮城県 石巻市)
【出典】東日本大震災 宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証(宮城県)



熊本地震時の応援部隊の集結・宿営
【出典】熊本災害デジタルアーカイブ 提供者: 松江市消防本部



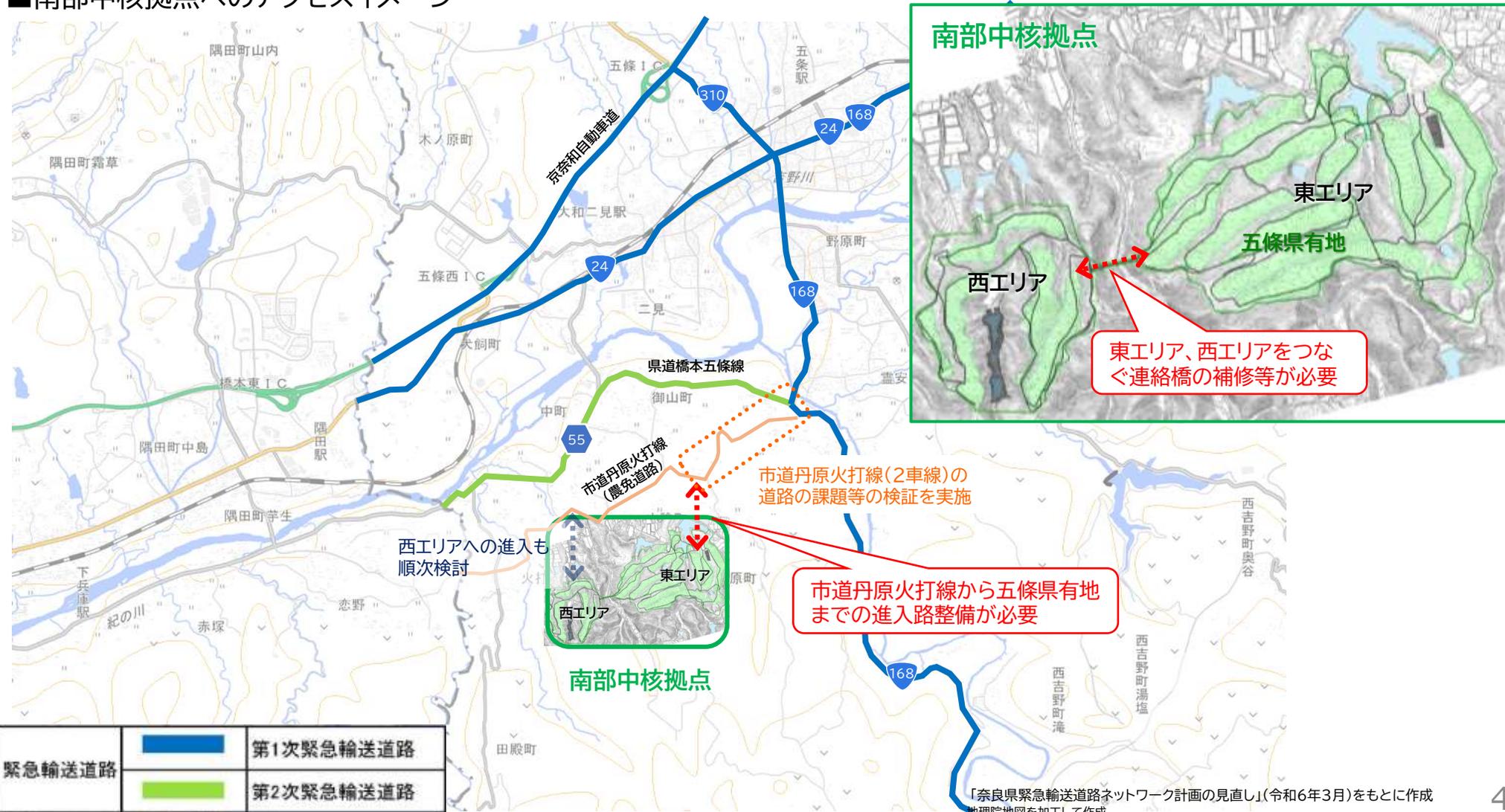
支援物資の受入

「奈良県緊急輸送道路ネットワーク計画の見直し」(令和6年3月)をもとに作成
地理院地図を加工して作成

3. 南部中核拠点へのアクセス

- 早期に防災機能の向上を図るため、まずは、現状の東エリアへの進入路の一部狭隘な区間について、早急に進入路整備を行い、大型車の通行を確保する。
- また、東西エリアを結んでいる既設橋梁の補修等を実施し、一体利用の観点から機能維持を図る。

■南部中核拠点へのアクセスイメージ



3. 南部中核拠点へのアクセス(東西エリア間の橋梁)

橋梁名：五条カントリー人道橋 上部構造形式：斜張橋
橋長：118.1m 有効幅員：3.0m 竣工年：昭和49年(1974年)
設計荷重：T-4.0 (総重量4トン車両1台であれば、通過可能)

